

# 平成28年度医療・介護連携推進研修会アンケートの意見等

平成29年3月11日開催

1. アンケート回収 132名（出席者 191名 回収率69.1%）

## 2. 医療・介護の連携についての意見等

- 多職種の人々と直接話が聞けて良かったです。また出席したいです。
- 人的な社会資源については、グループ内でまず一見し、自分からネットワークをつくっていくべきとお話がありました。今回の研修会の場もネットワークを広げられる一つ的手段と感じました。また参加させていただきたいと思います。
- HPへの発信ありがとうございます。
- 連携に関しては、連携しやすい関係となっているが、開業医の方とは連携がうまくいっていると感じられないので今後お願いしたい。
- このような研修会を多く開催することを希望します。
- Drに参加して欲しいと強く感じました。
- 両者をつなぐ窓口、社協さんがよいと思われる。
- とても勉強になりました。
- とても有意義な時間でした。顔の見える関係づくりが大切であると強く思いました。
- 最近、医療関係の方々と連携しやすくなり、情報の共有がやりやすくなりました。電子カルテ等でMSWの方が診察時の事もわかるので大変助かっています。
- 地域でうまくいった事例を多く共有できる機会となればと思います。
- このような研修会を通じて、少しずつ医療と介護の連携は進んでいると感じています。その反面、医療側の考え方、介護側の考え方の違いで、うまく連携ができない場面もあるのも事実です。こういった研修会に参加される関係者は、基本、連携ができてるのだと思います。このような勉強会になかなか参加されない方に、もっと連携の必要性を伝えていければ良いと思います。
- Drがグループワークに入っていたので、話しやすかったです。多職種もしっかりと配慮していただけて良かったです。
- 施設の方や訪看さん、ケアマネさんなどから、いつも聞けない話を聞いて大変勉強になりました。今後も連携していくよう努力します。
- GWにより、多職種の立派な活躍をしている皆様のご意見を聞いて良かったです。患者本位、大切です。ケアマネの重要性、再確認出来ました。ありがとうございました。今回のテーマとても良かったです。続けてほしいです。
- グループワークで各職種と情報交換ができ、良かったです。
- 地域のみまもり隊の話がきけて良かった。ケアマネさんの交渉力の高さをあらためて感じる事ができました。
- CMとして情報提供量が少ない、不足しているとわかりました。研修に参加して、グループ内で顔が見え、とても交流や連携がとりやすく感じました。医療職の方から、「もっと聞いていいんだよ」「TELするまでに度胸がいったでしょ」という声があがり、「わかってもらえる、わかってもらっている」と思え、次につながると感じました。怖がらず、一歩また先に行きたいとCMとして思いました。
- 今日のグループでは、困っているようなことはあまりなかったです。みんな人とのつながりを利用して情報収集や情報共有をしていました。

- グループワークでは、普通の業務では直接関わることができない方々と顔をあわす機会となりました。ありがとうございました。
- ご家族、ケアマネジャー、たくさんのかかわりの中で、ささいな事でも電話をするなど、担当者会議、包括センター、ソーシャルワーカーさんに相談したいことを聞くなど…。
- 研修会に参加することが、まず知る一歩だと思いました。
- 様々な職種の方の声が聞けたとても有意義な研修でした。みなさん、多忙ですが、できる限り顔のみえる関係作りをすることが大事だと思いました。介護、医療に関わらず、地域も。そしていずれも関わる方々には温度差があるんだな～と思いました。
- グループワークは苦手な抵抗があったが、人数が丁度良かったと思います。職種のバランスも良かったため、色々な意見を参考にさせていただきました。メール、FAXでのやり取りが多くなるが、顔を合わせて話し合うことの必要性を改めて感じました。
- 人的ネットワーク、顔のみえるつながりが大切という事を今一度感じた。在宅支援を提供する職種の学びと熱意が本日聞いて、一般参加者ではあったが、参加できて本当によかった。（家族の立場として）
- 前回よりリラックスし、よりフレンドリーな感じで話ぐできました。継続ですね。良かったです。
- グループワークでは医療側、在宅側の想い、意思を聞け勉強になった。もっと情報共有、点ではなく線としての繋がりを求めていることは同じだと感じた。
- 多職種の方とグループワークを通し、連携に対する思い、実践の中身を知り、学ぶことが出来ました。ありがとうございました。
- 連携することは、利用者の暮らしやすさ、安心して過ごしてもらうために重要なことと強く想いました。ただ、方法がわからず、困惑する場面が多いのも事実です。力不足も強く感じています。
- 医療・介護の知識の差により、まだカベが大きいと想います。お互いの知識を深める事は大切と考えます。
- 今回こういった会に初めて参加させていただき、非常に興味深い話が聞いて良かった。在宅を始めて間もないので、大変勉強になりました。
- 多職種のグループワークでいろいろな意見を聞くことができた。
- こういう会があると、顔を合わせて情報交換できてとても良かったです。各分野の悩みのすり合わせが大切なのは…。医療と介護別々の集まりは多いけれど。
- グループワークを通して、色々な情報共有ができて良かったです。普段関わりの少ない方々の交流ができて大変貴重な経験となりました。これからも継続していただきたいと思います。
- 参加してくれている医療機関の方は、もともと協力的な考えであるので、話をしているだけで連携とれそうだと思うが、参加していない医療機関の方々がむずかしく、なやましい。
- 多職種での交流が出来、大変良かったです。
- 地域のネットワーク作りが今後の上川地域の医療・介護連携の強みになると想います。
- 医療間、介護間での連携が充実することで医療・介護の連携が広がっていくと感じます。これから重要な機関となる地域包括支援センターの役割を市民、医療、介護関係に周知を行政にお願いいたします。
- 今後もこういった研修会を継続していただき、連携の取りやすい土台になればと思います。
- 多職種で情報共有することができました。
- 社会資源の把握方法がわかりました。
- 顔のみえる関係は、グループワークをすると色々な関係が生まれるので、研修会での会話は情報現状課題がみえやすい。

- 多職種の方から、いろいろな意見、情報を得ることが出来、有意義な時間であった。
- 地域包括ケアシステムの構築のためには、病院、施設間との情報共有で、共通のツールを利用すると効率的と感じます。その1つとして、共通の患者情報や医療情報提供書を使用すると、共有と整理がされやすいと思います。せめて、旭川市内の医療施設で導入されればよいと願っています。
- お互いの役割をまず知り、知識がないと連携できないと痛切に感じました。人と会うことの大切さを改めて感じました。
- 様々な職種とコミュニケーションを図るには、時間と費用がかかることもあり、日々多忙な中、時間を作る努力をすることが大切だと思いました。
- 医療に対しての連携には難しさを感じましたが、同じテーブルの訪看の方から、アドバイス等頂き勉強になりました。
- 専門職としての研修会でしたが、在宅介護をしている家族の立場からすれば、在宅家族そのものが知識拡充することが、在宅家族介護者に対する学習と考えます。初めての参加でしたが、理解が深まりました。ありがとうございます。
- 居宅のケアマネの方から、Drと連携しずらかったこととして、患者さん（利用者さん）の受診同行した時「なんで来たの?」とか「それは施設側の考えでしょ?」とか相手にしてくれないことが多いそうです困りごとを取り上げてほしい。
- 同じテーブルに色々な職種の方がいて、それぞれの立場での意見や経験などをきく事ができ、参考になりました。
- こうした研修を通して顔のみえる関係づくりに努力したい。
- 他職種、他事業所の方々と話し合う機会が少ないので、こういう研修は、とても有意義な時間だと思います。お互いの立場を知って頂く為にも良いと思う。
- 大変ためになりました。定期的に開催して欲しい。（最初から）もっと時間を長く設定して欲しい。
- 限られた時間内であったが、それぞれの立場、職種からの意見を聞いて良かったと思います。また、少なくとも、数人とは顔見知りとなったので、それも第一歩かと思います。
- 多職種との連携は大切。方法も参考になりました。（みなさんの情報共有の方法、仕方等）
- 多職種の方々と関わる事ができ勉強になりました。また、この様な機会があれば参加させて頂きたいと思いました。医療の連携については、同じ医療職であればNS⇔Drなど連携しやすいと改めて知りました。NSの方の関わりをCMが行うのは難しいと感じました。
- 今後とも深い連携により情報共有していければと思います。
- 本人、家族の要望、対応に答えるためには、必要な連携と感じました。
- グループワークで色々な方と話ができて楽しかった。理解が深まった。情報共有の場となった。
- 医療でも介護でも、関わりやすい人、そうでない人がいます。皆が同じ意識をもっていけたらよいと思います。
- グループワークを通して、様々な現場や職種の方との情報交換をすることができました。顔のみえる関係性づくりの大切さを改めて感じました。
- まだまだ連携が十分にできていない状況であると日々感じている。（院内、院外含め）各職種を尊重しながら、患者様がベストとする状況へつなげていければと思う。
- 互いに社会資源の把握のしやすい関わりや活動の整備を行うことで、より今後の高齢化に対応していけると改めて感じた。このような研修会を通じて、小さな輪が少しずつ大きくなっていき、より多職種との連携がスムーズになると感じた。

- 行政、国政としての地域包括ケアシステム構想のおかげもあってか、ケアマネ、介護施設等の地域側と医療側の連携は推進されている印象を受けいる。（この様な会や個別の打ち合わせ機会の増加…）ただ、旭川市としてのシステム構想へのビジョンが今一つ曖昧な様に感じる。2025年に間に合わせる気があるのか、どの程度を、いつまでに目指しているのか、指針は欲しい。
- もっと、多職種に関心を持ち、知識を深め、利用者さんに返していくことが大事。
- このような研修会を通して、医療関係者のお話、ご意見を聞かせて頂けて、大変参考になりました。このような研修会を継続的に開催して頂ければと思います。
- もう少し長い時間での話し合いも面白いかも知れません。地域包括支援センターの区域単位でのグループワークも良いかも知れません。
- 様々な職場、職種の方々の話しを聞く事ができ、とても学びになりました。ありがとうございました。
- 多職種の集まりは、色々聞けて良かったです。病院の中だけで、外のことが聞けて良かったです。
- 情報共有することで、ご本人やF aに安心してもらえるので進んでいきたい。訪問歯科D r の情報がなく困った時が、今は治療につながりました。（認知症の患者が多くなっている。）
- 顔見知りになることは、大切な情報になると思いました。
- 地域共用の情報提供のツールがあると便利だと考えます。SNSの利用
- このような機会があればまた参加したく思います。
- 顔の見える関係を作る機会になりました。
- 4事業所の事例報告は良かったです。HPや通所事業所の方や近隣町村の方が2名いたので色々な情報交換ができました。
- なかなか医療について薬剤師の方や医療の方に話を聞くことがなかったので、とても勉強になりました。また、研修会に参加したいです。双方にとって、良いツールが出来ればと思います。多職種との連携ができるとより良いケアにつながると思います。
- 基調講演、症例報告等ありがとうございました。せっかくの機会なので、多職種の方と話をする時間、グループワークの時間をもう少しとっていただいたら良かったと思います。
- 次回も参加したいと思います。準備をしていただいた事務のみなさん、ありがとうございました。
- 各地域包括センターでの講習会やアナウンスが必要だと思います。例えば地域の回覧板などに資料を入れるとか…。
- 地域の連携の必要性を改めて認識しました。
- まだまだ、点⇒線になっていない場面が多い。この様な研修会が増える事を願います。
- ますます連携が大事になると思います。共に患者さん、利用者さんが満足できる連携になってほしいものです。
- 医療・介護の現場で活動されている現状や課題をとらえながら、地域包括ケアが推進するための役割を、行政が取っていかねばならないと考えています。このような機会に参加させていただきありがとうございます。
- グループワークでの情報交換はよかった。事例検討は、失敗談等もあると良いと思います。